

キャンパス散策（日本工業大学）

日本工業大学の沿革と概要



日本工業大学は1907年設立の東京工科学校を始源とし、1967年に開学。2007年に学園創立百周年を迎えた、伝統ある工科系単科大学です。

2009年4月から工学部は機械工学科、ものづくり環境学科、創造システム工学科、電気電子工学科、情報工学科、建築学科、生活環境デザイン学科の7学科体制となっています。その他、大学院工学研究科（博士前期・後期課程）と社会人対象の専門職大学院技術経営研究科（神田キャンパス）、留学生別科日本語研修課程を併設しています。

教育の特徴としては、開学以来受け継がれてきた「実工学教育」があります。実験・実習などの体験学習を通して工学の本質に迫り、ものづくりの現場で活躍する実践的なエンジニアを育成しています。

国際交流も積極的に行っており、世界の理工系大学12校と提携し、学術的、人的な交流を推進。産学連携については技術交流の活性化、幅広い産業交流ネットワークの構築を目指しています。



環境への取組み

キャンパスは埼玉県・宮代町にあります。2001年にキャンパス全域で国際環境規格ISO14001の認証を取得しました。国内大学No.1の規模を誇る太陽光発電（463kW）の設置をはじめ、雨水の資源化、生ゴミのコンポスト化処理など様々な面から環境保全活動を行っています。学生も学生環境推進委員会を中心として、大学や地域住民とも連携しながら積極的に関わっています。



また、教員による研究のほか、環境分野研究奨励助成金制度の創設など、工学の視点から環境問題に真剣に取り組んでいます。教育面においても、環境関連科目を多数設置し、環境意識の高い人材育成に力を入れています。

学生の課外活動に対するサポート



本学では学生自治会、体育会系・文科系クラブ、自主サークルに至るまで課外活動が盛んに行われており、人的、施設利用面などにおいて大学が積極的に支援をしています。経済的支援としては、学生の父母で構成される後援会からの補助金が活用されています。

学生支援課では、学生総会で出された要望を関係部署と連携して検討し、迅速に対応に努め

るなど、学生との良好なコミュニケーションを築いています。

学修支援センター、学生相談室

学修支援センターには専属チューターが常時待機し、基礎学力や講義内容の習得に不安をもつ学生を個別指導しています。さらに、意欲のある学生に対する専門技術教育、不得意分野の克服講座なども行っています。

また、大学生活や人間関係といった、学生一人ひとりの相談にも対応。学生支援課や学生相談室と密に連携して問題解決にあたり、カウンセラーを紹介するなど“大学生活の悩み解消の場”としての機能も担っています。



就職支援



1年次から始まる「キャリアガイダンス」では、早い時期から職業意識、就労観を持てるように指導します。学部3年生と大学院1年生を対象とする「就職支援ガイダンス」では、希望する企業に就職できるように就職活動の流れに沿った講座を開設し、実践的な対策を指導しています。

そして、それらを強力にサポートするのが「就

職総合支援システム」。学生、卒業研究指導教員、就職支援課員の3者が就職活動情報を共有し、活動状況をリアルタイムに把握できる本学独自の支援システムであり、平成21年度文科省「学生支援推進プログラム」に採択されました。

キャンパスライフをサポートする施設

■ LCセンター (Library and Communication Center)

学園創立百周年を記念して2007年に開設した「人と情報の交流の場」です。豊富な図書・文献を自由に閲覧でき、インターネット、パソコン、AVシステムが整った情報施設として授業やゼミ、クラブ活動など、多目的に利用されています。巨大パフェや軽食類を提供するお洒落なカフェも併設しています。



■ スチューデントセンター



学生の自主的な文化活動の拠点として利用されています。施設内には大型モニターを備えた休憩スペース、カレー専門の食堂やスナック類の販売コーナーなどがあり、ゆったりとしたカフェテリア風になっています。また、地下には防音スタジオが10室あり、音楽系クラブの練習に活用されています。

■ スチューデントラボ

「ものづくり」への情熱をサポートする施設です。作業機械や道具を常備し、授業とは関係なく、自由なものづくりに打ち込むことができます。機械の使い方や技術的な疑問等は専任スタッフが親切にアドバイス。「親子ものづくり教室」など、地域の人々の創作の場としても活用されています。



■ 工業技術博物館



日本の産業発展に貢献した250台以上の工作機械等を展示、公開しています。その大部分は動態保存であり、かつての町工場も復元。1891年英国製のSLも動態保存し、キャンパス内の軌道上で定期運行しています。これら歴史的価値のある機械類に触れ、動かすことで新しい発想を生み出すことができます。

このほか、イタリア料理がメインの食堂、焼きたてパン売り場、本格的な寿司屋など食環境の充実化、また、ブルーの照明の駐輪場整備なども進めています。

